

トヨタ車体 刈谷 ふれ愛パーク

「人と自然の調和」をコンセプトにした、自然とふれあい、環境学習やスポーツなど多目的に楽しめる憩いの場です。

全体面積 約 50千m²
(ビオトープ、ふれあい広場 約15千m²)

【利用時間】(スポーツ施設を除く)

3-4月、9-10月 : 午前7時～午後5時30分
5～8月 : 午前6時～午後6時30分
11～2月 : 午前8時～午後4時30分

【休園日】 毎週月曜日、年末年始

富士松東小学校



ビオトープ



雑木林、せせらぎ、湿地などのある自然環境です。様々な生きものが観察できます。

果樹園・畑



果樹園には、この地にあった梨園の木を残し、ミカン、ウメなどを植栽しています。

ふれあい広場



ふれ愛パークの全体が見わたせ、みんなで遊び、走りまわられる空間です。

水田



この地にあった水田を残しています。稲作体験を通じ食の大切さを学ぶ場としても利用します。

太陽光発電施設



発電出力2.5kwの太陽光発電により、ふれ愛パーク施設の電力をまかっています。

刈谷 ふれ愛パーク ビオトープ

刈谷北部地域に広がる水田、点在するため池など周辺の水辺環境とのつながりを考えたビオトープ(生物生息空間)です。多くの生きものが生息、生育できる雑木林、せせらぎ、湿地、畑、果樹園、水田などの多様な自然環境を育てていきます。



池、湿地、草地

地域の水辺にあるタデ類など湿地植物を育てていきます。草地は多くの昆虫などのすみかとなります。

水田

カエルやトンボなど水辺の生きものが、すめる場所です。水田の周り設けた水路は、稲作の中干し時や冬季に生き物が逃げ込める場所となります。

果樹園

ナシなどの花は昆虫の蜜源となり、ミカン類の葉はチョウの幼虫の食草となります。

せせらぎ

地下水を水源とし、下流の池よりポンプで循環させ、せせらぎで魚類に必要な酸素を取り込みます。また、流れる水音も楽しめます。

雑木林

地域の森にあるコナラ、アベマキを中心とした落葉樹林を苗木から育てます。

愛知県の生態系ネットワーク形成の基本方針、昔の地域自然環境や周辺の動植物調査を踏まえ、また愛知教育大学有識者の助言を頂きビオトープを計画しました。

雑木林成長イメージ



4月19日(土)
地域の皆さんと社員で
苗木320本を植樹。



(開設時)



(10年後)



(5年後)

出会える生きものたち

(* 2012年の調査で見られた動植物)



トノサマガエル



アマガエル



シオカラトンボ



ガガブタ



モズ



ツグミ



ベニシジミ



ミゾソバ

生きもののつながり

ビオトープの整備により、生きものが周辺のため池や森などに移動しやすくなり、生息できる場所を広げる役割を持ちます。

